

令和6年度



赴 *The guidebook for new teachers*
任者ガイド

WeLoveOGAWA.



唐津市立小川小学校

唐津市立小川中学校

これは、唐津市立小川小学校及び小川中学校に赴任される職員のための簡単なガイドです。Q&A方式でまとめていますが、他にもお尋ねなどございましたら、気軽に、電話やメールでお問い合わせください。 **検索** **小川小中学校**

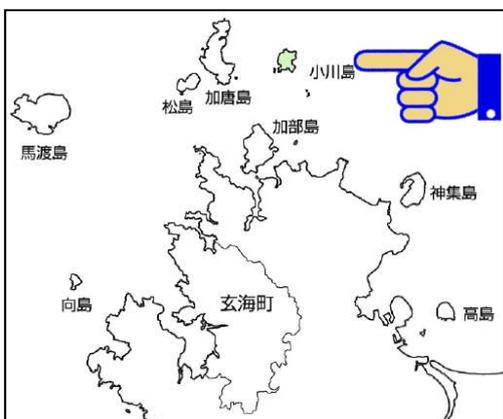
TEL0955-82-8009

(小) ogawa-e@education.saga.jp (中) ogawa-j@education.saga.jp

Q1.小川島は、どんな島ですか？

呼子港から約 6 km の玄界灘に浮かぶ周囲約 4 km の小さな漁業の島です。人口 283 人（R5.1 月現在）、134 世帯で、産業は小型漁船によるイカの一本釣り漁業、海士によるサザエ・アワビ・ウニ漁が盛んです。冬場は、父親が関西や関東方面等に出稼ぎに出られる家庭も比較的多いのが特徴です。かつては捕鯨基地として栄え「鯨見張り所」「捕鯨供養所」などの貴重な歴史遺産が当時を偲ばせています。

晩秋や早春は強風が続いて欠航も見られますが、対馬暖流の影響を受け、冬季は霜の降りない比較的温暖な島です。



Q2.小川島には、どうやって渡るのですか？

呼子港の小川島発着所から定期船「そよかぜ」を利用します。所要時間は20分です。1日に5便が運航されますが、冬場は4便になります。手荷物は一人2個まで無料。3個目から、大きさ等によって追加料金が必要です。

渡船料は520円、回数券（発行日より2カ月間有効）の11回分5,200円がお得です。または、小川島港からの往復切符（発行日より2日間有効）の990円もあります。渡船料は、船が出航してから船員さんが回収にきます。

時刻表は次の表になっています。詳しくは、「唐津市離島航路情報（時刻表・乗り場）／唐津市」で確認できます。「離島航路 小川島」で検索するとでてきます。

小川島発	呼子港発
7:00	8:00
8:50	10:50
13:00	14:20（※1）
15:20（※2）	16:10（※2）
17:00	18:00

※1…3月15日～10月31日の期間です。これ以外の冬場（土、日、祝日は除く）は、15:00発の運航となります。

※2…夏場の期間（3月15日～10月31日）だけの運航で、冬場（土、日、祝日は除く）は運航しません。

Q3.定期船で車は、運べますか？

軽自動車とバイク可です。しかし定期船「そよかぜ」に事前に相談してください。小川島は、周囲だけは車で回ることができますが、島の人たちの交通手段は、ほとんどバイクです。われわれ職員も島では自家用車は必要ありません。徒歩で十分です。



Q4.小川小中学校は、どんな学校ですか？

小川小中学校の校舎は、平成2年3月に完成した、鉄筋コンクリート2階建てでコの字型をした校舎です。平成3年12月プール完成、平成5年7月へき地集会施設を兼ねた体育館完成、平成8年12月校門完成、運動場も9,460㎡と広く、また、図書館、音楽室、理科室、家庭科室、美術室、技術室等のほか、パソコン室、多目的ホール、食堂を備えています。へき地校としては、施設設備がよく整った学校です。職員室は小中学校同室で、職員会議等も合同で実施します。

令和6年度の児童生徒数・教職員数は、次のとおりです。

	小学校			中学校		
児童生徒数	1・2年	2人	計7人	1年	2人	計6人
	3・4年	3人		2・3年	4人	
	5・6年	2人				
教職員数※	6人			9人		

※この他に、用務員1名、調理員3名、音楽・美術・技術・家庭の非常勤講師やALTの先生が週に1回来られます。

※中学校の部活動は卓球部、小学校には卓球クラブがあり、職員が分担して指導にあたっています。



体育館（西側）



校舎（小中併設）

Q5.職員住宅は、ありますか？

定期船の関係で通勤が不可能なため、全員が職員住宅に入居し、自炊をしています。部屋割は、教頭に一任ください。

職員住宅は2棟あり、鉄筋コンクリート2階建てで、「北住宅」「南住宅」と呼んでいます。北住宅から学校までは徒歩で3分、南住宅からは5分です。雨のときはわずか3~5分でも大変です。風の強いときは、雨が横から降ってきますので雨カップと長靴があった方が便利です。

職員住宅の住所は、

北住宅：唐津市呼子町小川島 888 番地小川島教職員住宅北〇号

南住宅：唐津市呼子町小川島 492 番地小川島教職員住宅南〇号
です。郵便番号はどちらも〒847-0306 です。



Q6.職員住宅の部屋は、どうなっていますか？

北住宅と南住宅、それぞれ1階が家族住宅（各2戸）、2階が単身部屋（各6室）になっています。南住宅には、1階に宴会等を行うことができる集会所があります。

単身部屋は次のように、6畳一間の台所付きです。風呂、水洗トイレは共同使用です。家族住宅は6畳二間で6畳のダイニングキッチン、風呂、水洗トイレ付きになります。

住宅の老朽化に伴い、令和3年度から一部リフォームが行われているところです。

エアコンと給湯器は、備品として完備されております。しかし、どの部屋も基本的に電化製品はありません。冷蔵庫やガスコンロ、炊飯ジャー、電子レンジ、電灯、テレビ、また、テーブルや食器棚、カーテンなどは各個人で購入し、備えることとなります。しかし、ここ最近では、転出の際に、そのまま次の入居者に譲って引っ越すパターンも多くなってきました。転居してきた際に何が必要なのかは、3月の転入職員オリエンテーションのときに部屋の下見ができますので、そこで確認してください。



Q7.職員住宅の経費は、どうなっていますか？

固定額を給料から天引きし、(15,000円前後)余った分は、年度末に現金で返却しています。各部屋で増減の変更もできます。光熱費は、月によって各個人で違いますが、大体の月額の見目は次の通りです。

	家族住宅	単身部屋
住宅費	7,200円	2,400円
光熱費(電気、水道、ガス)	10,000～15,000円	6,000～10,000円
区費(天引きした分から支払)	1,000円	1,000円

光熱費について、家族住宅は水道料金は個人で振込みとなり、電気・ガスは天引きした固定額から引き落としとなります。単身部屋は、個人の電気代と供用の電気・ガス・水道代(人数割)の合計を、天引きした固定額から引き落としとしています。

なお、住民票異動に伴い、4月1日の赴任旅費が支給されます。また、単身赴任手当^{※1)}や特地勤務へき地手当^{※2)}も毎月支給されます。

※1) 配偶者と別居し、単身で生活することを証明する住民票謄本など関係書類が必要になります。詳しくは、転入職員オリエンテーションで説明があります。

※2) 本校は2級地ですので、へき地手当の支給割合は12%、準ずる手当の支給割合は4%です。したがって、合計16%となり、計算式は、

(給与基本給+教職員調整額+扶養手当)×16% になります。なお、準ずる手当については、新採・講師の先生は対象外となります。

Q8.保育園は、ありますか？

島には保育園があり、乳児から保育をしてもらえます。平成28年度からは、認可保育園となりました。

区民合同体育大会やアイランドフェスティバル（文化祭）等の行事にも一緒に参加しています。



Q9.引っ越しは、どうすればいいでしょうか？

各自で荷物を呼子港まで持って行き、定期船「そよかぜ」に積み、小川島まで運んでもらいます。乗船後、船員さんから、代金の請求があるので、現金で支払います。（荷物によって価格は、相当開きがあります。）

小川島港から職員住宅までは、軽トラックを借り受け、運んでもらうように学校側でお世話します。小川小中の児童生徒も手伝ってくれます。引っ越しが重ならないよう、日時や定期船の時刻を調整していますので、詳しくは、小・中学校の教頭から打診があります。

Q10.駐車場はどうすればいいのでしょうか？

出張等もありますので、全職員が呼子港の近くに月極め駐車場を借りています。3月で転出する職員と交代で借りることが可能ですので、転入職員オリエンテーションで調整をします。ただし、学校としては紹介をするのみで、基本的に個人契約という形になります。

駐車料金は、場所によって様々ですが、屋根なしで毎月3,500円～5,000円程度。屋根付きで毎月5,000円～6,500円程度です。佐賀県教職員互助会に、「離島校勤務者駐車料補助」として年度末に領収書を添えて申請すれば1/2程度（最高額36,000円）、月最高3,000円まで補助金がでます。

Q11.緊急の島への出入りはどうするのですか？

緊急に定期船の時刻以外に島へ出入りするには渡船業者に連絡して船を出してもらっていましたが、今は運行されていません。まずは、教頭まで連絡ください。

Q12.欠航したらどうすればいいでしょうか？

悪天候の場合、まず、小・中学校の教頭に連絡をとるか、両教頭より連絡があります。しかし、内海ですので、滅多に欠航にはなりません。目安として波の高さ 4m が判断の基準のようです。

もし、呼子港まで来て定期船が欠航の場合は、安定住所まで引き返すか、互助会指定宿泊施設を利用します。唐津第一ホテル、唐津第一ホテルリベールは 5,500 円で宿泊可能です。(佐賀県教職員互助会から会員及び被扶養者一人当たり 2,000 円の補助あり。年間 15 泊迄)

Q13.病院はありますか？

診療所があります。校医もお願いしています。医師が常駐(木曜日を除く)していますが、歯科や耳鼻科等は呼子まで通院しなければなりません。歯科や耳鼻科等への通院は、離島特定診療通院費補助金交付制度があります。(詳しくは唐津市のHP) 島に緊急時の備えとして、ヘリポートがあります。

Q14.携帯電話は使えますか？住宅でインターネット、TVは？

NTTdocomo、SB、au とともに使えます。ぴーふる放送と契約を結ぶことで光テレビ視聴や光インターネットが利用できるようになります。詳細については、各自「株式会社ぴーふる」にお尋ねください。

株式会社ぴーふる

唐津市東大島町3-11 TEL0955-73-5460 FAX0955-73-9990
ぴーふるカスタマーセンター 0120-34-9686

Q15.お店や銀行はありますか？

漁協の購買部と酒屋、それに小さな店が1軒あります。いわゆるスーパーやコンビニはありません。多くの職員は、日曜日に食料の買い物をして、船に乗ってそれを運び、1週間をその食材で自炊をしています。昼食は児童生徒同じく給食がありますが、春休みや夏休みなどの長期休業中の給食のない日は、少し困ります。呼子の「颯海」や「かまどや」等の弁当をみんなで仲良く注文しています。

島内には銀行はありませんが、簡易郵便局があります。また、漁協にはATMがあります。呼子には佐賀銀行呼子支店と唐津信金がありますので、そこを利用しています。

Q16.小川小中学校の魅力って、何ですか？

まず、小中学生ともに子どもたちが素直であることが一番です。また、保護者や地域の方々も親切です。少子化のあおりを受け、児童生徒数は激減している点は課題ですが、1クラスが少人数のため、一人一人に対して、個に応じたきめ細かな指導ができることも大きな魅力です。今のところ、不登校はゼロです。

また、校舎もきれいで、職員室はOA化が進み（LAN整備済み）、職員には一人一人に公的パソコンが配備されているなど、教育機器などの面でも恵まれています。ネットはイントラ回線の光ケーブル（上り下りとも24MB）でつながっています。

さらに、小中併設校のため、授業研究会や生徒指導協議会等も小中合同で行うなど、小中連携を図りながら、9年間を見通した児童生徒の育成に取り組んでいます。

学校行事も島民と連携して行われるものが多く、島全体が一体となって盛り上がります。詳しくは学校ホームページをご覧ください。



Q17.小川島の魅力って、何ですか？

きれいな海に囲まれた自然豊かな島で、とても静かでゆっくりと時間が流れています。特に、海の幸がいっぱいで、イカをはじめ、お刺身などがいつでも食べられます。釣り好きの方は、放課後や土日などの休日を利用してつりを満喫できる素敵すぎる島です。

また、休日には多くの観光客や釣り客がこの島を訪れ、島の魅力にとりつかれてリピーターとなる方も多いそうです。6月のガゼ（ウニ）とりでは、島の人たちや子どもたちと一緒に海に潜って、ウニをはじめ、アワビ、サザエなどを捕ることができます。きれいな朝日や夕陽、真っ青な空もこの小川島の魅力の一つです。

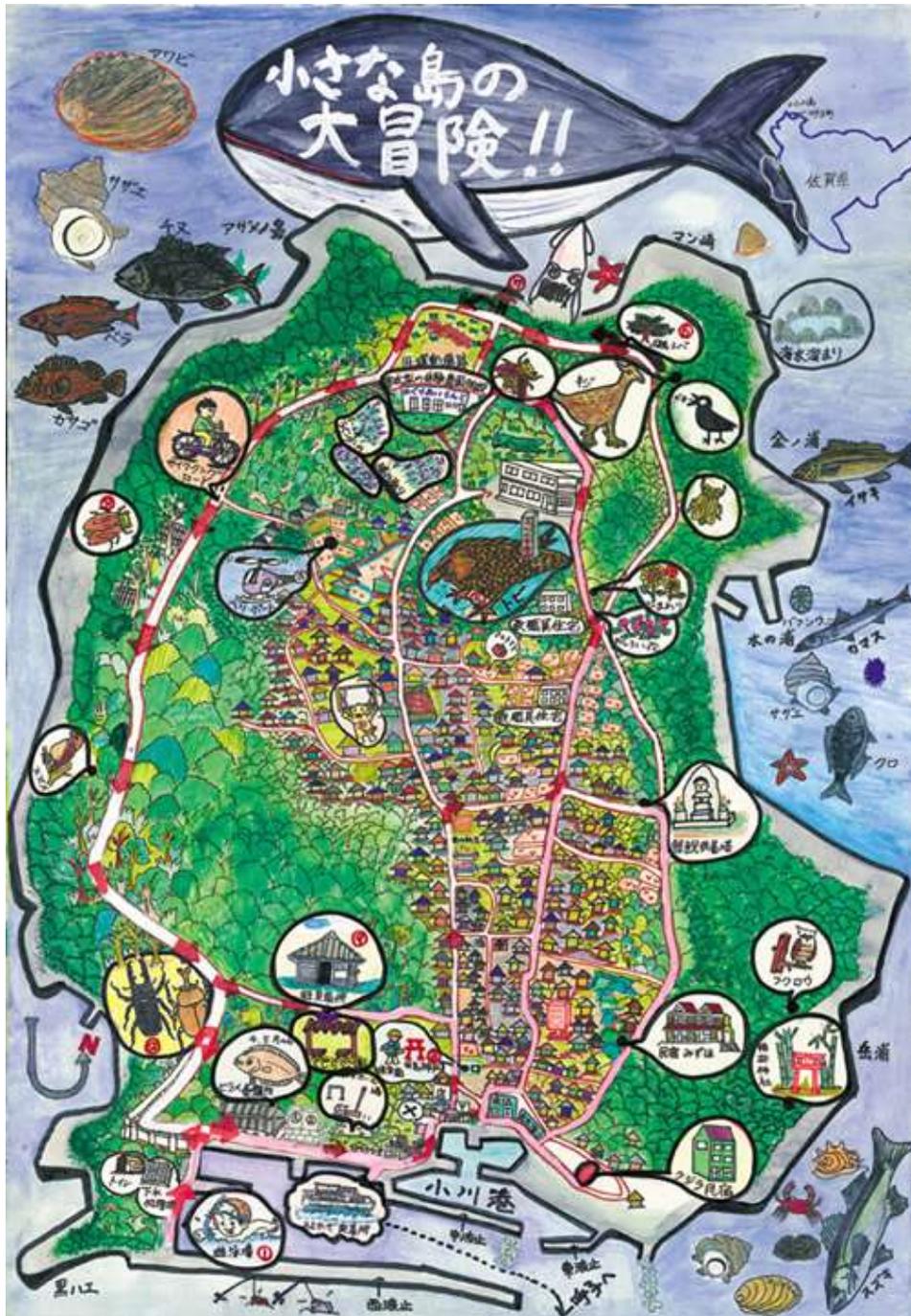
【 本校の特色ある取組みの紹介 】

『がぜとり』は、毎年大潮の日に実施されます。本校では、小川島の貴重な水産資源である「ウニ」の採取と、その後の商品化のための後処理（がぜしの）の体験を通して、「働くことの意味とよろこび」や正しい「職業観」「勤労観」を身に付けさせることを目的とした「キャリア教育」の一環として位置付けています。各家庭の協力を得て、すべての子どもたちが帰宅後のウニ割りや内臓とウニを仕分ける作業を体験しています。



『おいでよ！おがわ島』は、小川島・島づくり事業実行委員会が主催する交流事業です。県内外の小中学生やその保護者、一般の方を交えて、毎年行われています。本校職員、児童生徒は実行委員の一員として参加をしています。例年、午前中は、アジなどの釣り体験、午後は海鮮食材でバーベキュー、いも掘り体験を行い、交流を通して島のよさを参加した方々に伝えています。





2004年度第21回「自然は友だち わたしの自然観察路コンクール」
中学生の部 最優秀賞「小さな島の大冒険！！」

「唐津市立小川小中学校赴任者ガイド」
令和6年3月修正版